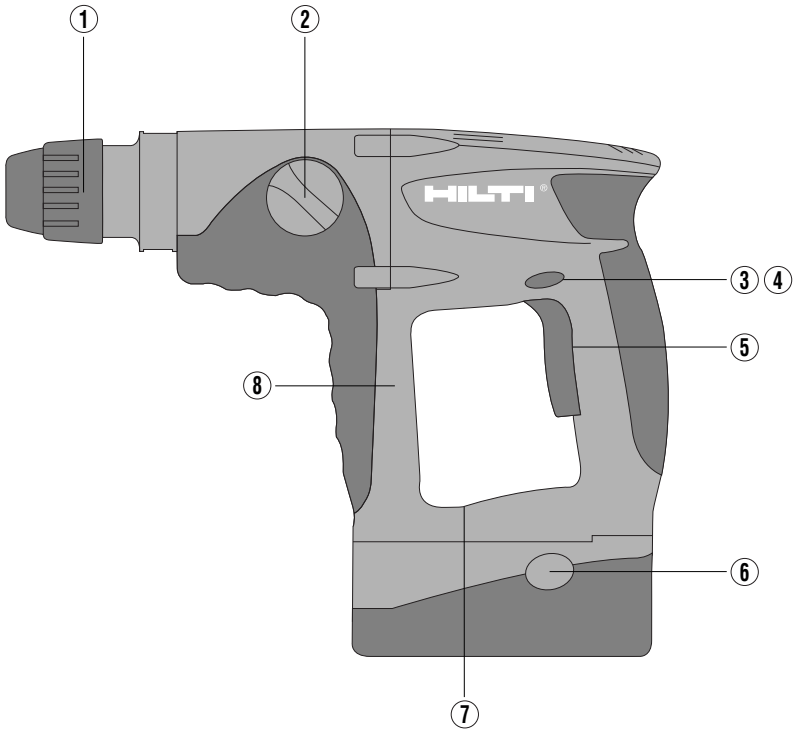
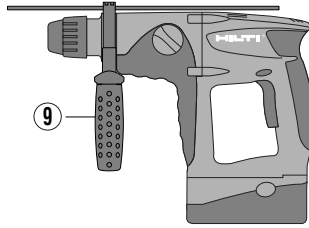
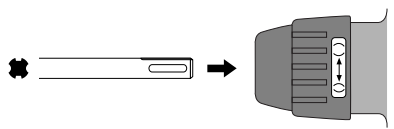
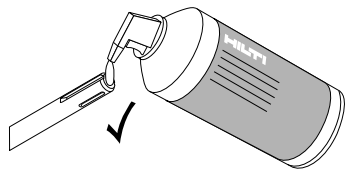
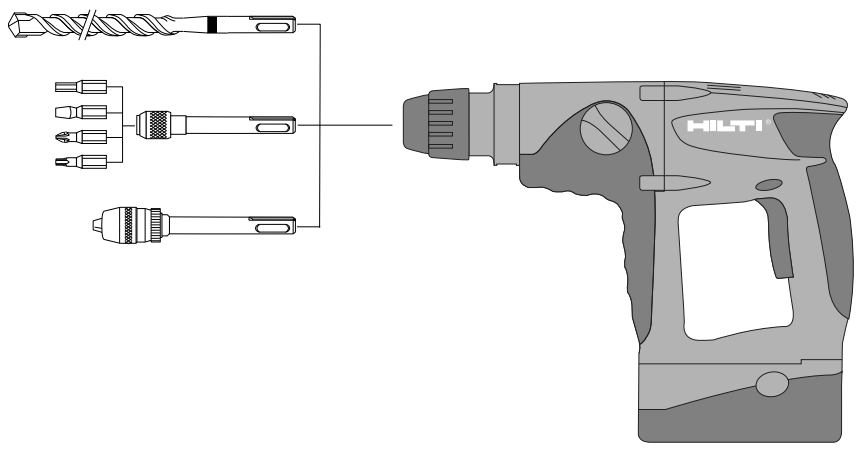
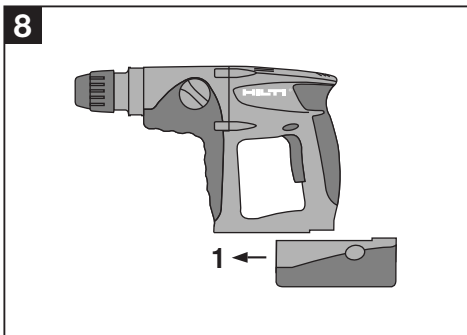
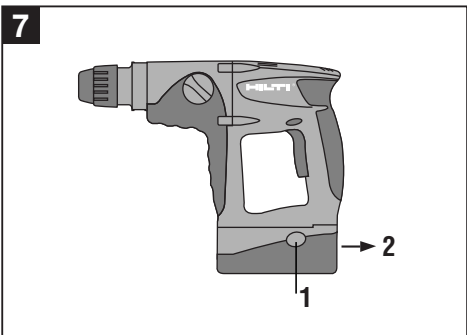
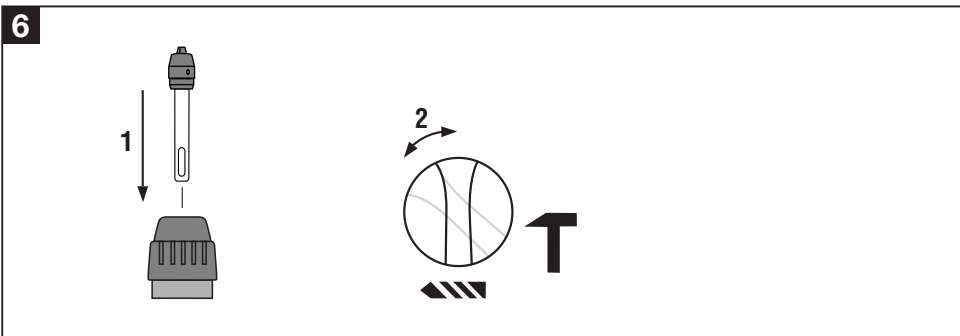
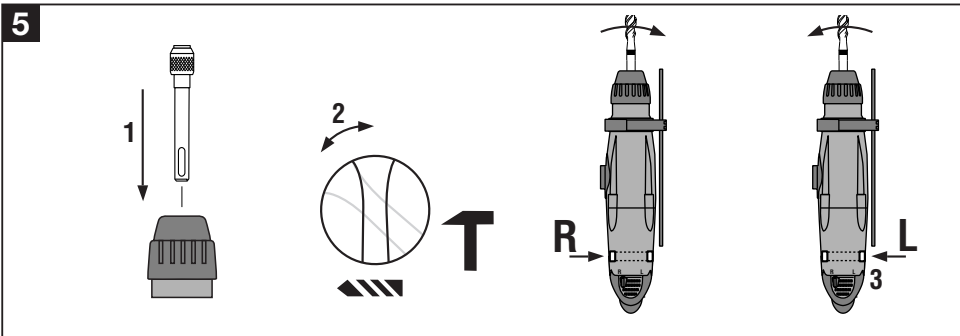
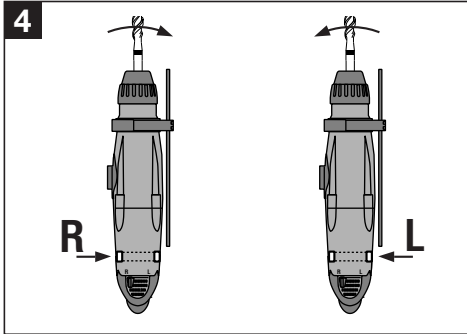
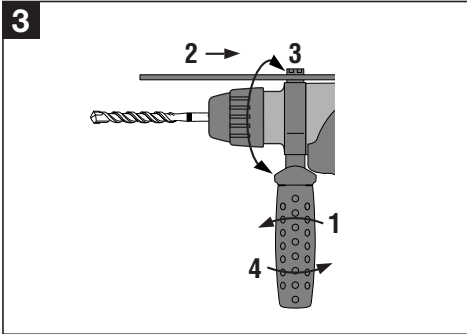


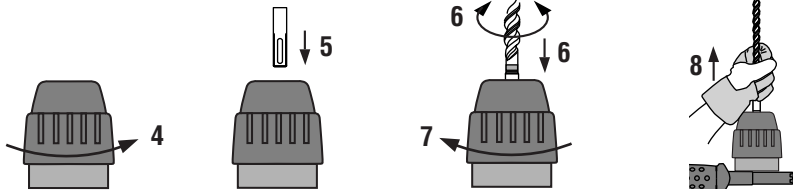
Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Istruzioni d'uso	it
Gebruiksaanwijzing	nl
Manual de instruções	pt
Manual de instrucciones	es
Brugsanvisning	da
Käyttöohje	fi
Bruksanvisning	no
Bruksanvisning	sv
Οδηγίες χρήσεως	el
Kasutusjuhend	et
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Ръководство за обслужване	bg
Upute za uporabu	hr
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по експлуатации	ru
Návod na obsluhu	sk
Navodila za uporabo	sl
Návod k obsluze	cs
Használati utasítás	hu
操作說明書	zh
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
原版操作说明	cn







9



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「△警告」、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「△注意」として記載しています。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
 - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
 - 電池パック B24/2.0 NiCd、B24/2.4 NiCd、B24/3.0 NiMH 以外は充電しないでください。破裂して障害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある電源でご使用ください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が 0 °C 未満、あるいは温度が 45 °C 以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
3. 電池パックの端子間を短絡させないでください。釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
4. 感電に注意してください。
 - めれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

6. 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものと粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
7. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。固定が不十分な場合は加工するものが飛んで、けがの恐れがあります。
8. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。本体が作動して、けがの恐れがあります。
9. 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動して、けがの恐れがあります。
10. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
11. 電池パックを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2. 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - 充電工具や電池パックを、温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

ja

4. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上のご使用は事故の恐れがあります。
 - ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・小型の充電工具やアダッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
7. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
8. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。
9. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの恐れがあります。
 - ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
 - ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めのお店に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

10. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの恐れがあります。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めのお店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作して、けがをする恐れがあります。
14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・サービスマン以外の人は本体、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・本体が熟くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めのお店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

充電式ロータリーハンマードリル使用上の注意

警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があるとドリルビットが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、本体を両手で確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、ドリルビット類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
4. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにメインスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社直営のヒルティセンター、弊社営業担当に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ドリルビット類や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

注意

1. ドリルビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
4. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
5. 作業直後のドリルビット類は高温となっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。

オリジナル取扱説明書

TE2-A 充電式ロータリーハンマードリル

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、工具と取扱説明書を一緒にお渡しください。

各部名称 1

- ① チャック
- ② 機能切替スイッチ
- ③ 正逆回転スイッチ
- ④ モーターブレーキ
- ⑤ 無段変速スイッチ（回転数電子制御式）
- ⑥ バッテリーリリースボタン（2箇所）
- ⑦ 銘板
- ⑧ グリップ
- ⑨ デブスゲージ付 360° 回転式サイドハンドル（オプション）

目次	頁
1. 一般情報	244
2. 定義	245
3. 先端工具と付属品	245
4. 技術データ	246
5. 安全上の注意	247
6. ご使用前に	249
7. ご使用方法	250
8. 手入れと保守	251
9. 故障かな？と思った時	252
10. 廃棄処分	252
11. 本体に関するメーカー保証	253
12. EU 規格の準拠証明（原本）	253

1. 一般情報

1.1 表示とその意味

－ 注意 －

この注意は、軽傷、機械器具あるいは他の物財の損傷が発生する可能性が想定できるほどの危険性がある場合に、注意を促すために使われます。

－ 注意事項 －

この注意は、本製品を取り扱う上での注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号

警告表示



一般警告事項



電気に関する警告事項



高温に関する警告事項



腐食に関する警告事項

義務表示



保護メガネを
着用して
ください



耳栓を
着用して
ください



粉じんの多い
作業においては、
防じんマスクを
着用してください



保護手袋を
着用して
ください

略号



使用前に
取扱説明書をお読みください



リサイクル
規制部品です

- V = 電圧
--- = 直流
No = 無負荷回転数
/min = 分単位当たりの回転数
T = 打撃＋回転
 = 回転のみ

1 この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

この説明書で「本体」と呼ばれる工具は、常に TE2-A 充電式ロータリーハンマードリルを指しています。

機種名・製造番号の表示箇所

機種名、商品番号、製造年、および技術レベルは本体に貼られた銘板に表示されています。本体番号はモーター部の左サイドに表示されています。当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名： _____

製造番号： _____

2. 定義

TE 2-A はプロ仕様の充電式ロータリーハンマードリルです。人間工学に基づき設計された合成ゴムグリップを使用しており、作業者の疲労を軽減するだけでなく、手からの滑り落ちも防止できます。

本体セット構成品目：本体、バッテリーパック B24/2.0 NiCd、B24/2.4 NiCd または B24/3.0 NiMH、充電器 C 7/24 または C 7/36-ACS、取扱説明書、本体ケースあるいは外箱。

2.1 正しい使用

TE 2-A は手持ち使用の充電式ロータリーハンマードリルであり、ネジの締め付けや取り外し、鋼材、木材、石材への穴明け、およびコンクリートやレンガへの打撃穿孔としてご使用いただけます。

作業区域としては、あらゆる種類の建設現場での新築・解体・改築・改修工事などです。

- 本体は連続動作に設計されています。
- 本体は乾燥環境でのみ使用してください。
- 火災や爆発の恐れがあるような状況では、本体を使用しないでください。
- ヒルティ純正の先端工具と付属品のみを使用してください。
- バッテリーパックは、ヒルティ 24 V シリーズの工具にのみご使用ください。
- ヒルティ純正の充電器のみを使用してください。



- 本器具の加工や改造はしないでください。
- 事故を防止するため、ヒルティ純正の付属品、アクセサリのみを使用してください。
- 取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。
- 本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

2.2 使用者に留意して頂くこと

- 本体はプロ仕様で製作されています。
- 本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。
- 注意深く作業を進め、十分に集中できない時は本体を使用しないでください。

2.3 特徴

- 振動吸収グリップ（合成ゴム）
- 無段階変速
- ギア部とクラッチ部は永久潤滑油構造
- 自動遮断カーボンブラシ
- 正逆回転スイッチ
- 回転／回転打撃機能切替スイッチ

3. 先端工具と付属品

デブスゲージ付サイドハンドル	オプション
充電器	C 7/24
充電器	C 7/36-ACS
充電器	TCU 7/36
バッテリーパック	B24/2.0 NiCd (国により異なる)
バッテリーパック	B24/2.4 NiCd (国により異なる)
バッテリーパック	B24/3.0 NiMH
本体ケース／外箱	
ベルトアダプター	BAP 24
グリス	オプション
ウエス	オプション

ja

4. 技術データ

本体

電圧	24 V ---
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	3.9 kg
本体寸法 (L x H x B)	325 × 260 × 92 mm
無負荷回転数	980 回/分
全負荷回転数	900 回/分
全負荷打撃数	0 ~ 74 Hz (0 ~ 4410 打/分)
1 回当たりの打撃力	1.5 ジュール
チャックシステム	TE-C
ドリルビット範囲 (コンクリートとレンガ用)	4 ~ 16 mm
ビット範囲 (木工用)	3 ~ 13 mm
ビット範囲 (鉄工用)	3 ~ 10 mm
ビットアダプター使用でのネジ締め	
- 木ネジ用	6 mm 以内
- HUD ネジ用	6 mm 以内
回転数コントロール	電氣的にコントロールスイッチにて
正逆回転機能	噛み込んだ時の電氣的切替スイッチ
ギア部は完全防じん密封、永久潤滑油構造 (メンテナンスフリー)	

—注意事項—

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例: 電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音／振動について (EN 60745) :

サウンドパワーレベル :	97 dB(A)
サウンドプレッシャーレベル :	86 dB(A)
EN 60745 に準拠、測定した上記騒音レベルの誤差は、3dB です。耳栓を着用してください！	

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)

EN 60745-2-1 に準拠	金属への穿孔, ($a_{n,D}$)	2.5 m/s ²
EN 60745-2-6 に準拠	コンクリートへの打撃穿孔, ($a_{n,HD}$)	14.5 m/s ²
3 軸の振動値の不確実性 (K)		1.5 m/s ²

バッテリーパック	B24/2.0 NiCd	B24/2.4 NiCd	B24/3.0 NiMH
電圧	24 V ---	24 V ---	24 V ---
バッテリー容量	24 V × 2.0 Ah = 48 Wh	24 V × 2.4 Ah = 58 Wh	24 V × 3.0 Ah = 72 Wh
重量	1.38 kg	1.45 kg	1.43 kg
温度モニター	付き	付き	付き
セルの種類	ニッケル-カドミウム 構成 SUB C	ニッケル-カドミウム 構成 SUB C	ニッケル-金属水素化合物 構成 SUB C
セルブロック数	20 個	20 個	20 個

技術データは予告なく変更されることがあります。

5. 安全上の注意

5.1 一般安全注意事項

—警告— 注意事項のすべてをよくお読みください。注意事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。以下の事項内で使用する用語『電動工具』とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

安全ガイドを大切に保管してください。

5.1.1 作業環境

- 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性気体に引火する恐れがあります。
- 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、ツールのコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

- 本体の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しななければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした本体と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- 本体を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- 本体を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、ケーブルを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- 屋外工事の場合には、認可マーク付きの専用延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

- 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には本機を使用しないでください。本機使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じん

マスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。

- 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが「オフ」の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で本機のスイッチに指を掛けたまま運んだり、バッテリーを装着したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本機の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- 慎重な作業をおこなってください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- 作業に適した作業服を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋をツール可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業がおこなえます。
- スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前に、電源プラグをコンセントから抜く/またはバッテリーパックを本体から外してください。この安全処置により、本体が不意に始動するのを防ぐことができます。
- 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本機のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- 電動工具のお手入れは慎重におこなってください。本機の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、本機の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分を修理させてください。発生意事故の多くは保守管理の不十分なツールの使用が原因となっています。
- 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。

- g) 本説明書内の指示に従うとともに、各形式に合った電動工具、アクセサリ、先端工具を使用してください。この際、作業環境および用途に関するもご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 充電器具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが『オフ』の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態でバッテリーを装着すると、事故の原因となる恐れがあります。
- b) バッテリーがメーカー推奨の充電器で充電されていることを確認してください。特定のバッテリーに適した充電器にその他のバッテリーを使用すると、火災をまねく恐れがあります。
- c) 必ず本機に適したバッテリーを使用してください。その他のバッテリーを使用すると、けがや火災をまねく恐れがあります。
- d) 使用していないバッテリーは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジ、その他バッテリー端子間の短絡の原因となる小さな金属片から離してください。バッテリーの短絡は、やけどや火災をまねく恐れがあります。
- e) 取扱いを誤ると、バッテリーからバッテリー液が漏れる恐れがあります。流れ出た液体に触れることのないよう十分ご注意ください。万一、この液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。液の飛沫が眼に入ってしまった場合は、すぐに大量の水で洗眼した上、眼科医の診察を受けてください。流れ出た液体は、肌に刺激を与えたり、やけどをまねく恐れがあります。

5.1.6 サービス

- a) 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実におこなわれます。

5.2 その他の安全上の注意

5.2.1 作業場

- a) 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- b) 本体に付属された追加ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失って怪我する恐れがあります。
- c) 本体とグリップを常に両手でしっかりと保持してください。本体、特にグリップ表面は乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- d) サイドハンドルをご希望の位置に回し、正しく、しっかりと固定されていることを確認します。
- e) 回転部分に触れることのないよう十分ご注意ください。本体の電源は必ず作業場で入れてください。
- f) 不意に始動しないようにしてください。スイッチに指を掛けた状態で本体を持ち運ばないでください。

本体は指示されたとおりに、不具合のない状態で操作してください。

- g) 用途に合った工具をご使用ください。本体を本来の目的以外には使用しないでください。必ず、指示にしたがい、不具合のない状態で使用してください。
- h) 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。
- i) 壁の貫通時や長いドリルビット装着時には、作業壁面の裏側を確認してください。
- j) 本体に集じん装置を取り付けずに作業をする場合、作業の方は防じんマスクを着用しなければなりません。
- k) 本体を保管および搬送する際は、スイッチオンロックを作動させてください（正逆回転スイッチを中立の位置にします）。
- l) 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- m) 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- n) 含鉛塗料、特定の種類の木材、鋳物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者が近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材/鋳物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

5.2.2 電気に関する安全注意事項

- a) 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。
- b) 使用する先端工具がチャック機構に適合し、チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。
- c) 埋設された電線または電源コードが先端工具で損傷する恐れがある場合は、本体の絶縁されたグリップを保持して作業してください。電流の流れている電線に触れると、本体の絶縁されていない金属部分が通電され、作業者が感電する危険があります。

5.2.3 使用者に留意して頂くこと

- a) 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

5.2.4 電気工具の取扱いと手入れ

- 作業場の採光に十分配慮してください。
- 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でないと、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

5.2.5 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。



保護メガネを着用してください



耳栓を着用してください



保護手袋を着用してください



粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

5.2.6 充電器具の慎重な取扱いおよび使用

- バッテリーパックを充電器にセットする前に、バッテリーパックの表面の汚れを落とし、乾かしてください。
- バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。落下したバッテリーパックで怪我をする恐れがあります。
- 寿命となったバッテリーの廃棄は、リサイクル規制により定められた方法で確実に行ってください。
- 損傷したバッテリーパック（例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点が曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリーパック）の充電や使用はしないでください。

6. ご使用前に



- この取扱説明書に記された「安全上の注意」を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。
- セルを確実に初充電するため、新しいバッテリーパックの場合は、使用前に必ず十分に充電してください。十分に初充電しておかないと、バッテリー容量に影響を及ぼすことがあります。
 - C 7/24、TCU 7/36 充電器では、通常モードで24時間以上、あるいはコンディショニングモードで12時間以上、充電を行う必要があります。
 - C 7/36-ACS 充電器では、初充電を行うかあるいは通常モードによる充電を行うかが自動検知されます。

－ 注意事項 －

- 本体には、バッテリーパック B24/2.0 NiCd、B24/2.4 NiCd、B24/3.0 NiMH のみを使用してください。
- 低温ではバッテリーパックの力が低下します。
- バッテリーパックを使用しない場合は、室温で保管してください。
- バッテリーパックを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- バッテリーパックの充電量が少なくなった場合は、本体が完全に停止する前に、予備のバッテリーと交換してください。効率が落ちたバッテリーパックは、交換後速やかに充電してください。


6.1 サイドハンドルの取り付け（オプション） 3



－ 注意事項 －

2つの固定グリップに加えて、調節式サイドハンドル（オプション）を取り付けることができます。このサイドハンドルを使用すると、特に鋼材への作業時に安全性が高まります。

1. サイドハンドルのグリップを反時計方向に回して、サイドハンドルのクランピングバンドを緩めます。
2. サイドハンドル（クランピングバンド）をチャックに通し、ハウジングにはめ込みます。
3. サイドハンドルをご希望の位置に回します。
4. サイドハンドルのグリップを時計方向に回して、しっかりと固定します。

7. ご使用方法

	－ 注意 －
	<ul style="list-style-type: none">● 本体および穿孔作業は騒音を発生させます。● 過剰な騒音で聴力の低下を招く場合もあります。● 耳栓を着用してください。

	－ 注意 －
	<ul style="list-style-type: none">● 穿孔作業で、母材の破砕片が生ずる場合があります。● 破片が身体の一部、気管、眼などを傷つけることもあります。● そのため、防護メガネおよび防じんマスクを着用してください。
	

7.1 正逆回転の設定 4

正逆回転スイッチ ③ を使用することにより、先端工具スピンドルの回転方向（正回転、逆回転）を選択することができます。モーター回転中にビットが噛み込むと、スイッチの切替ができなくなります。

正逆回転スイッチは中立の位置でブロックしています。

－ 切替スイッチを右方向 Rへ押す（本体の動作方向から見て）＝ 正回転

－ 切替スイッチを左方向 Lへ押す（本体の動作方向から見て）＝ 逆回転

7.2 ドライバーとビットアダプター 5

1. TE-C コネクションエンド付ビットアダプターをチャック内に挿入して、チャックをロックします。

2. 機能切替スイッチを「回転のみ」の印の方向に回します。

3. 正逆回転スイッチを希望の方向に選択します。

7.3 打撃穿孔

1. 正逆回転スイッチ ③ を正回転に合わせます。

2. 機能切替スイッチ ② を「打撃＋回転」の印の方向に回します。

7.4 クイックリリースチャックを使用した穿孔 6

1. TE-C コネクションエンド付クイックリリースチャックをチャック内に挿入して、チャックをロックします。

2. 機能切替スイッチを「回転のみ」の印の方向に回します。

－ 注意 －

直径の大きなビットやホールソーを使用して穿孔作業を行っている時に停止すると、大きなトルクが発生します。本体は手持ち使用でのみお使いください。

7.5 コントロールスイッチ

ドリルビットがブロックしてモーターが2～3秒以上停止した場合は、故障防止のため本体のスイッチを切ってください。

1. コントロールスイッチをゆっくり押すことにより、回転数をゼロから最高まで無段階調整することができます。

7.6 バッテリーパックの取り外し

（2本の指で同時に） 7

1. バッテリーの両サイドにあるリリースボタンを押します。

2. バッテリーパックを本体から後へ引き抜きます。

7.7 バッテリーパックの装着 8

ヒルティのバッテリーパック B24/2.0 NiCd、B24/2.4 NiCd、B24/3.0 NiMHのみを使用してください。

1. バッテリーパックを本体の後にあてがいがながら、結合する音がするまで挿入します。

7.8 バッテリーパックの充電





バッテリーパックは、ベルトアダプターに取り付けた状態で充電しないでください。

ヒルティ C 7/24、C 7/36-ACS、TCU 7/36 充電器のみを使用してください。

取り扱いを誤りますと、電気ショックによる障害や加熱、さらにはバッテリー液漏れの原因となります。充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

7.9 先端工具の交換

	－ 注意 －
	<ul style="list-style-type: none">● 使用中に先端工具が高温になる場合があります。● 手に火傷を負う場合があります。● 先端工具の交換時には、保護手袋を着用してください。
	

7.9.1 先端工具の装着 9

1. バッテリーパックを本体から取り外します。

2. 先端工具のコネクションエンドが汚れていないか、グリスが塗布されているか確認します。必要であれば、コネクションエンドの汚れを取り除き、グリスを薄く塗ってください。

3. 防じんカバーのシーリングリップが汚れていないか確認します。必要であれば、防じんカバーの汚れを落とし、シーリングリップに損傷がある場合は防じんカバーを交換してください。

4. チャックを (C) 印の方向に回します。
5. 先端工具をチャック内のストップ位置まで差し込みます。
6. 先端工具を回してロックします。
7. チャックを回して (C) 印の位置に戻します。
8. 先端工具を引っ張り、しっかりと固定されているか確認します。

7.9.2 先端工具の取り外し

1. バッテリーパックを本体から取り外します。
2. チャックを (C) 印の方向に回します。
3. 先端工具をチャックから引き抜きます。
4. チャックを回して (C) 印の位置に戻します。

8. 手入れと保守

8.1 先端工具の手入れ

先端工具の表面に付着した汚れを取り除きます。時折、油を染みこませた布で表面を磨いて腐食から守ってください。

8.2 本体の手入れ



本体が不意に始動することがないように、清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

8.3 保守

本体の全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、ヒルティカスタマーサービス、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

ヒルティカスタマーサービス：

Tel: 0120-232926

Fax: 0120-232953

e-mail: hiltijapan@hilti.com

全国共通番号・通話料無料（月～金＝ 8:30～18:30）

本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

8.4 バッテリーパックのお手入れ

バッテリー端子に付着した埃や油を取り除いてください。必要に応じて、バッテリー端子をきれいな布で清掃します。バッテリーパックが完全に消耗するまで使用すると、セルに損傷を与える恐れがあります。本体の出力が落ち始めた場合は、バッテリーパックを充電する必要があります。

月 1 回か、あるいは明らかにバッテリー容量が低下している場合には、コンディショニング充電を行ってください。
- C 7/24、TCU 7/36 充電器では、通常モードで 24 時間以上、充電を行う必要があります。

- C 7/36-ACS 充電器では、初充電を行うかあるいは通常モードによる充電を行うかが自動検知されます。コンディショニング充電でも希望の出力が得られない場合は、ヒルティの診断を受けられることをお勧めいたします。

8.5 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、保守の作業を済ませた後は、全ての安全機構が装着され、正常に作動していることを確認しなければなりません。

ja

9. 故障かな？と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない	バッテリーパックが正しくロックされていないか、あるいはバッテリーパックの放電 電気的故障	バッテリーパックをカチッとロック音がするまで挿入するか、あるいはバッテリーパックを充電する 本体からバッテリーパックを取り外し、ヒルティリペアセンターに連絡する
打撃がない	機能切替スイッチを点検する	機能切替スイッチを「回転+打撃」の印の方向に回す
コントロールスイッチが押せない、あるいはブロックされた	正逆回転スイッチが中立の位置にある（トランスポートロック位置）	正逆回転スイッチを左または右へ押す
回転数が突然落ちる	バッテリーパックの容量が少なくなった	バッテリーパックを交換し、空のバッテリーパックを充電する
バッテリーパックの消耗が通常よりも早い	バッテリーパックの状態が最適でない	コンディショニング充電を行う（充電器の取扱説明書を参照）
バッテリーパックが「カチッ」と音がするまでロックされない	バッテリーパックのロックノッチが汚れている	ロックノッチを清掃して、バッテリーパックをロックする 問題が再発する場合は、ヒルティリペアセンターに連絡する
本体あるいはバッテリーパックが熱くなる	電気的故障 本体に負荷がかかり過ぎている（適用基準を越えている）	本体の電源を直ぐに切ってバッテリーパックを取り外し、ヒルティリペアセンターに連絡する 用途に合った工具の選択

10. 廃棄処分



リサイクル規制部品です

ヒルティ電動工具の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細についてはヒルティカスタマーサービスあるいは弊社営業員にお尋ねください。

バッテリーは、国の法律に従って廃棄してください。
または、処分のためヒルティにお戻しください。

11. 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正部品、構成部品、およびスペアパーツのみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、装置の寿命期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、厳格な国内法がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。とりわけ、

ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

12. EU 規格の準拠証明 (原本)

名称:	充電式ロータリーハンマードリル
機種名:	TE 2-A
設計年:	2003

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します。

2004/108/EG, 2006/66/EG, EN 60745-1, EN 60745-2-6, 2006/42/EG, EN ISO 12100, 2011/65/EU, 2004/108/EG.

**Hilti Corporation, Feldkircherstrasse 100,
FL-9494 Schaan**



Paolo Luccini
Head of BA
Quality and Process Management
Business Area
Electric Tools & Accessories
01/2012

Jan Doongaji
Executive Vice President
BU Power Tools & Demolition

01/2012

技術資料:
Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland

ja



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

W 2842 | 0113 | 10-Pos. 1 | 1

Printed in China © 2013

Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

304444 / A3

